

## 専門学校

### 国際理容美容専門学校理容学科

僕が理容師になろうと思ったのは高三の時でした。本当は高一の時から美容師になろうと思っていましたが、進路ガイダンスでの美容系・理容系の話を聞いて、理容師の仕事に興味を持ったので理容師になろうと思いました。

理容・美容系に進もうと思ったきっかけは、母が美容師をやっているのを見て、その仕事をしている姿などを見て、とてもやりがいのある仕事だと思ったからからです。だから僕もたくさんの人から慕われるような理容師になりたいと思いました。もし理容師や美容師になりたいと思う人は、ぜひ体験入学をして下さい。とてもやりがいのある仕事だと感じる事が出来ると思います。それと学校選びの事です。なるべく都内の学校へ入学することをお勧めします。理由は、都内で働いた方が、いい仕事ができるからです。そのためには、都内の学校の方が都内へ就職できる確率が高いので、できるだけ都内へ入学する方がいいです。あとは、学校見学などに行った時の、生徒さんの姿や授業態度、先生方の様子などを見て、直感的にここで自分も将来のために勉強していきたいと思うような学校を選べればいいと思います。

次に受験の事をお話します。僕が受験で苦労したことは、受ける学校を決める時でした。第一志望の学校は自分の休みが多いせいで一般受験という方法しか残されていなく、第二志望の方は、推薦が取れるということなので、受かる確率の高い第二にするか、第一で勝負にできるか、かなり迷いましたが、そこは、自分の努力で受かる確率を上げてやるという気持ちで第一にしました。決めてからは、受験内容が一般常識のテストと面接だったので、部活が終わった九月から力を入れて勉強しました。面接の方は、試験一週間前に、清水先生、本村先生、目次先生に手伝っていただき、毎日放課後練習をしました。面接で大事なことは、自分の意見や考えをはっきりと言う事です。それと面接で喋る言葉は、文で覚えるのではなく、重要な単語に分けてあとは自分で単語をつなげて文にしていく方法の方が、本番でパニックになることもないです。あとは何回も練習することが大切です。

進路を決めるのは、きっかけは他人かもしれないけど自分が決定しないとはいけません。だから、自分が将来的に何をやりたいのか、もしやりたい事がなくても何に興味があるかをよく考えて下さい。考えて、考えて自分がやりたいことを見つけて下さい。とりあえず大学か専門に行けばいいと思ってしまうと、必ず後になって後悔することになります。だから後悔しないために、進路を決めてください。僕もこれから先、もっと大変になると思うけど、自分の夢のために頑張りたいと思います。

## 淑徳幼児教育専門学校幼児教育学科

私は、赤ちゃんの頃から母親以外の人には全く懐かず、母親の姿が少しでも見えなくなるとすぐに泣き出してしまう子でした。そんな中、当時住んでいた近くの幼稚園に入園しましたが、やはり、最初は慣れない生活に不安を感じていたのを、今でも覚えています。最初は泣きまくっていた私が、担任をしてくれていた先生がすごくいい方で、徐々に心をひらけるようになっていきました。途中から幼稚園に通うのがすごく楽しくなってきたのです。その先生が大好きで、こういう先生になって、人見知りの子とも打ち解けられるような先生になりたいと心から思い、この道に行くことを決意しました。

中学でも高校でも、幼稚園や保育園に体験しに行く機会があったのでそれを活用させて頂きました。学校単位とは別に、友人と個人的にも行かせていただきもしました。こういうことをしたことにより、早くこの仕事に就きたいという意欲が沸いてきました。

しかし、幼児教育を学ぶ学校は沢山あるし、どこがいいか凄く迷っていた時に、高校で『進路ガイダンス』という機会を設けていただけました。そこでこの、「淑徳幼児教育専門学校」の方が来て、お話を伺う事ができました。ここの学校の話聞いて、今まで迷っていたものがすぐになくなりました。そして、友人と見学をしに行ってみて、「ここしかない！ここで絶対学ぶ！！」という気持ちになりこの淑徳を受験することにしました。

淑徳は、入試方法が大きく分けて4つあります。私はその中で、「AO 試験」を受けることにしました。AO が1番最初の入試ということもあり、9月の半ばに受験し、結果は1週間以内にくるといっても早いものでした。そして、ここのAO は特に指定がなく、10分間自己PR というものでした。得意なものも特になし何をやろうかと迷いましたが、去年の例なども聞き、先生にも相談にのってもらい、「大きな絵本」を作りその読み聞かせをしようと決めました。高校最後の夏休みは遊びたいって思いもあったけど、最初の方はほぼ毎日高校にいき、美術の先生にアイデアを頂き、黙々と作成しました。夏休み明けには友人や先生に発表の練習をつきあってもらいました。

試験当日は緊張したけど、なんとかやり終え、「もしかしたら落ちたかもしれない」と言う気持ちはあったけど、絶対にこの学校で学びたかったから、落ちてもまた推薦で受けようときめていました。しかし、思いが伝わったのか、見事AO で合格することができました！！この合格は色々な人の支えがあり達成したものです。1番はアドバイスをくれた美術の中田先生だけど、励ましてくれた先生や、受験の日にメールをくれたり、発表の練習を手伝ってくれたり、見守ってくれていた友人が沢山居たことが、凄く支えになりました。だから私は、その想いを胸にこの学校で沢山学んで恩返しをしたいとも思っています。

そして、自分のように夢がある人はもちろんその道に進んで欲しいし、まだ曖昧な人も、沢山考えて焦らずに、自分にあったものを見つけてください。自分に関わることだから、真剣に自分自身と向き合ってみてください。

## 八千代リハビリテーション学院理学療法学科

自分の受験を振り返って経験や感想などを書きます。参考になるかはわかりませんが、少しでも力になれば嬉しいです。

まずは進路先についてです。

私は、公募制推薦で八千代リハビリテーション学院の理学療法学科に合格しました。

八千代リハビリテーション学院は理学療法士になるための勉強をする学校で、この理学療法士という職業はあまりなじみがないかもしれませんが、簡単にいえば「リハビリの先生」です。細かいことが気になったら調べてみてください！素晴らしい職業です。

受験に向けて本格的に動き始めたのは部活の引退が決まった6月からでした。まず理学療法士になれる学校を探し、資料を集め、学校見学や体験入学に参加しました。その中で、同じ夢、目標を持つ友達に出会う事もできました。

勉強は正直言って必死に頑張ったとは言えないかもしれませんが、八千代リハビリテーション学院を公募推薦で受験すると決めてからは過去問を解いたり、受験科目である国語、それから一般入試の時に必要になる数学を中心に勉強を進めました。予備校には行かなかったのですが、学校の先生に協力していただいた部分もありました。また夏は、受験はもちろんですが応援団としても大事な時期だったこともあって、勉強との両立は大変でした。公募推薦での受験を諦めようとした時期もありました。でも周りの支えもあって自分の目標を達成することが出来ました。

以上が自分の経験です。

最後に、専門学校は大学と違い、理学療法士なら理学療法士、美容師なら美容師を専門的な事を学ぶところです。だから専門学校を進路として選ぶならまず、自分の就きたい職業や夢、目標を確認してみてください。間違いないと思うことができたそのときは夢や目標を実現させることが出来ると思います。

## 国保松戸市立病院附属看護専門学校

私は、国保松戸市立病院附属看護専門学校の指定校推薦をいただき受験し合格することができました。

まず、私が看護師を目指そうと思ったきっかけは二年生のときに参加した一日看護師体験です。そこで看護の主な仕事、患者さんとのコミュニケーションをとることの難しさ、病院内では忙しく移動は常に早歩きで、また患者さんの体を支えたり体力的に大変であることを知りました。しかし、看護師の方と患者さんの体を拭いていたとき、体がきれいになり喜ぶ患者さんの表情をみて私はとても嬉しくなりました。看護師さんは人の命を預かるので大変な仕事だと思いますが、その分周りから与えられるものは多いと思います。そして何度目かの看護体験の中で、患者さんと同じ目線から考え身体的、精神的ケアを行う

ことのできる看護師になりたいと思いました。この体験を通して感じたこと考えたことはわたしが看護学校を受験する上で非常に大切なものとなりました。これから看護師を目指そうと思っている人は必ず一度体験をしてみた方がいいと思います。

看護を目指す人は何事も早め早めの準備が大切です。私は部活動引退後すぐ新宿セミナーという看護医療系専門の予備校に通い始めました。始めのうちは予備校の環境に慣れず授業についていけませんでした。が、わかりやすい授業と予習復習をきちんとすることで徐々に理解できるようになりました。

私は夏休みの時点で国保の推薦を受けたいと考えていました。しかし、推薦の可否がどのようなかわからないのでほぼ毎日予備校の自習室を利用し一般のための勉強をしました。国、数、英の勉強をするのはもちろんなのですが、小論文の準備もしておかなければいけませんでした。国保は推薦でも一般でも小論文が含まれているからです。しかし、私は小論文が苦手何度か予備校の先生にみてもらい書けるようになるまで苦勞しました。指定校推薦が受けられると決まった後は試験科目である国語、小論文を重点的に勉強しました。この頃はもう暇さえあれば小論文ばかり書いていました。また、国保の推薦には面接の他に集団討論があったので予備校でなるべく多くの練習をしました。討論は相手の意見も取り入れつつ自分の意見も伝えなければいけないし、その場で与えられた題について考えなければいけないので、知識も必要で大変でした。試験前はいろいろ不安になり、落ち着いていられませんでした。けど、自分が今まで努力してきたことを思い出して、試験に臨みました。

私が無事に国保に合格することができたのは、家族や友人、予備校の先生やそこで出会った仲間の支えがあったからです。もう嫌だと思った時同じ夢を目指す仲間が頑張っている姿をみて自分も頑張ろうと思えました。予備校で出会った友達の存在はとても大きいものでした。看護を目指したいと思っている皆さん受験はけして楽ではありませんが諦めないで下さい。「看護師になりたい!!」と思ったときの気持ちを忘れずに前向きに頑張ってください。結果は必ずついてきます。

## 千葉・柏リハビリテーション学院 理学療法学科

私は指定校推薦で受験しました。志望校を決めたのは高校三年生になる直前で、それまでは医療系に進みたいという漠然とした考えしかありませんでした。そのため、いろいろな医療系の学校見学に行きました。その見学を通して最も興味を持った理学療法士の道へ進もうと決めました。学校を決めた基準は、学院に隣接したりハビリテーション病院があるから実習がしやすいし、在校生の方々のお話を聞いて学院の雰囲気が自分にあっていると感じたからです。また、入学してからは勉強も今まで以上に大変になるため家から近いというのも大きな理由のひとつです。

次に受験に関してですが、看護・医療系の受験内容は多種多様なので早いうちから志望

校を決めてその学校にあった受験勉強を進めていくと良いと思います。私の受けた学校は指定校推薦でも、学科・小論文・面接がありました。また事前面接というものもあり、その面接が変わっていて、面接官の方が六実まで来校して行うというものでした。内容はあまり普通の面接と変わりませんでした。穏やかな雰囲気の中行われました。受験対策に関しては、予備校に夏期講習だけ通って要点を学び、あとは独学で進めていきました。小論文は書きなれるために何枚も書いて国語科の先生に添削してもらい、面接は十分に自主練習をしてから進路指導の先生に協力して頂き、シミュレーションしました。自分のペースで進めていくことが出来たので、このような形式をとって良かったと思っています。

指定校推薦で受験を考えている人たちは評定平均が重要になってきます。日頃の授業と定期テストへの取り組みを大切にしてください。今まで頑張っておいて良かったと思える日がくると思います。それから、「遅刻・欠席 何日以内」と決まっている場合も多いので、十分注意しておいた方が良いでしょう。

最後に進路を決定するのは自分自身です。自分で決めた進路だからこそ、最後まで頑張ろう!!という気持ちになれるのだと思います。大変なことも多いと思いますが、今から出来ることを少しずつ行っていけば必ず進路は実現するはずですよ☆ この「合格体験記」が少しでも皆さんのお役に立てると嬉しいです。頑張ってください!!